



十西小だより



弥富市立十四山西部小学校
学校だより 第23号

平成30年9月28日

観劇会 ～もったいないミュージカル～

9月26日に劇団「笑う猫」の「もったいないミュージカル」を全校で鑑賞しました。ノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんによって世界に広められた、「もったいない」の意味を考え、実践していくことをテーマとしたミュージカルでした。

地球の未来を考えるため、世界の代表メンバーが宇宙船に乗り込みます。宇宙船が故障して不時着した星は、ゴミやがらくたが散乱し、人間以外の生き物が支配する世界でした。メンバーは様々な体験をしながら、地球の未来について考えるというお話で、子どもたちも、物の大切さを考えるよい機会となりました。



子どもたちの感想です

きょうは「わらうねこ」の「もったいないミュージカル」を見ました。このお話の中で一番好きな場面は、歌ったりおどったりするところです。どうしてかということ、とても楽しい気分になるからです。とくに最後の歌はとても楽しい気分になりました。いっしょにおどったりもしました。げきだんの人たちはダンスがすごく上手でした。わたしも、げきだんの人たちのようなダンスをおどりたいと思いました。

(3年女子)

「もったいないミュージカル」では、あらためて物の大切さを分からせてもらい、今持っている物をとても大切に使いたいと思いました。また、今度の学習発表会では、「笑う猫」さんみたいに大きな声で歌ったり、せりふを言ったりして、見習いたいと思いました。

(6年男子)

「もったいないミュージカル」は、現代の社会の状況にあって、これからの地球のことについて考えさせられました。ミュージカルなので、楽しく見ることができました。見るだけでなく、自分たちも参加することができ、楽しかったです。最後のダンスも分かりやすかったです。大きな声、気持ちのこもった話し方など、学習発表会の参考になりました。また見る機会があったら見に行きたいです。

(6年女子)